



令和2年7月28日

旭川開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について ～第30回総合評価審査委員会を開催しました～

令和2年7月6日（月）に開催された第30回 旭川開発建設部 総合評価審査委員会の審議概要について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部
技術管理課 課長 小嶋 篤志 (0166-32-3897)
技術管理課 上席技術管理専門官 福田 学 (0166-32-4649)
旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as/>
旭川開発建設部公式Twitterアカウント @mlit_hkd_as



第30回旭川開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	令和2年7月6日(月) 旭川開発建設部 入札執行室		
委員	江口 尚文 (旭川大学教授) 北島 滋 (東海大学名誉教授) ○長澤 徹明 (北海道大学名誉教授)	(五十音順、○印は委員長)	
<p>議 事</p> <p>1. 総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>① 天塩川改修工事の内 国府右岸上流築堤法尻補強工事</p> <p>② 一般国道40号 中川町 琴平東改良工事</p> <p>③ 大雪東川第二地区 上岐登牛1号工区区画整理工事</p> <p>2. 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>④ 石狩川上流・天塩川上流 河道管理計画検討業務</p>			
委員からの意見・質問、それに対する回答等			
意 見・質 問		回 答	
<p>1. 総合評価落札方式の実施結果について</p> <p>抽出された工事3件、業務1件について概要説明及び審議を行った。(以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は機密保持の観点から記載しておりません)</p> <p>① 天塩川改修工事の内 国府右岸上流築堤法尻補強工事 (施工計画重視型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年多く見受けられると思われるが、3社が同額で、かつ調査基準価格と同額となっている理由は。 ・技術審査評価の中で、評価の重点ポイントは、どの部分か。点数評価等の仕組みはどのようなものか。また、評価を行う際に恣意的なものは無いのか。 ・本工事の堤防法尻補強は河川災害等の防止に有効か。 ・企業と技術者の表彰における加点について対象年の違いは何故か。 		<ul style="list-style-type: none"> ・工事の工種が少なく簡易で、かつ標準の歩掛となっているため、設計額を類推しやすいものと思慮。 ・評価項目の中で、当該工事における留意事項が、20点の配点と最もウエイトが高い。評価方法については、各部局において評価の配点等を定めている。評価に際して恣意的なものはない。 ・近年の河川災害等を勘案し緊急的に実施しているもので、越水した場合には、堤防破堤までの時間を遅らせるものである。 ・企業については、複数の工事实績や技術者がいるため2年としており、技術者については本工事で専任として配置登録を求めている。 	

<p>② 一般国道40号 中川町 琴平東改良工事 (施工計画重視型 一括審査方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留意事項の非評価において、特記仕様書記載の協議事項につき非評価としているが、表示等は適切なものとなっているか。 ・評価のポイントは、標準的なものがあり評価するのか、又は独自性があるもの等が評価として高くなるものなのか。また、入札価格差が小さく同程度となる理由は何か。 ・留意事項3項目の配点はどのように決定しているのか。 <p>③ 大雪東川第二地区 上岐登牛1号工区区画 整理工事 (若手技術者育成型 一括審査方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留意事項の安全対策について、ライフライン事故について除外している理由は何か。 ・留意事項の項目について、提案による差がつきづらい内容なのか。また、評価差が生じる項目設定が必要なのでは。 ・留意事項の評価において、対策や効果が定量化されている提案とそうでないものとの評価が同一だが評価差は生じないものか。 ・若手技術者育成型となっているが、若手としての定義は何か。 <p>2. 建設コンサルタント業務におけるプロポーザル方式及び総合評価落札方式の実施結果について</p>	<p>本人の表彰履歴を加点評価としているため、4年としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な明示となっており、解釈の相異による提案を記載したものと思慮。 ・提案内容が理に適ったものであれば、標準的なものも独自性のあるものも両者とも評価している。また、入札価格については先程の河川工事と同様な理由と資材価格を調査会単価として公表し標準歩掛を使用しているためと思慮。 ・施工計画重視型においては、3項目の留意事項で配点を20点満点と定めており、工事内容で重要度の高いものを10点とし、残り2項目を5点の配点とした。 ・安全対策とすると範囲が広がることもあり、工事内容や地域特性等を勘案し除外した。 ・各社が管内において、同様の工事を多数受注していることもあり、差がつかない状況と思慮。この工事は、若手技術者育成型の試行工事であり、若手育成として参加しやすくし、技術提案により評価している。 ・評価判断として、一定程度の効用等が認められるものは全て評価しており、提案内容における優劣は付けていない。 ・旭川では、過去45歳以下と定義して試行したが、管内の技術者の現状を勘案し、現在は50歳以下として運用している。
--	---

④ 石狩川上流・天塩川上流 河道管理計画検討業務

- ・ 特定テーマの評価について、減点評価がないが満点評価とならないのは何故か。
- ・ 参加者へ評価するポイント等は示されているのか。

【上記工事・業務について適切な評価と認める】

- ・ 評価判定として、想定した項目全てを満たせば次点評価とし、その他として項目以外で想定を超える優れた提案があり、評価に値すれば満点評価としている。評価一覧表の配点基準に不明確なところがあることから、今後は適切な表記としたい。
- ・ 具体的な文言等は明示していない。閲覧資料や業務における条件等を勘案し、特定テーマについて提案してもらうこととなる。

以上